

文化芸術振興のあり方検討会について

社会教育課

1 趣旨

令和2年度事業レビューの評価やカウベルホールの閉館、新型コロナウイルス感染症対策など活動者を取り巻く環境の変化から、琴浦町の文化芸術振興のあり方を検討する必要があります。

2 概要

現在の町内の文化芸術振興に関する課題を把握し、施策への反映、また活動者との連携体制を構築するため、活動者との3回の意見交換会を実施した。

- ・ 第1回「多彩な文化芸術を鑑賞する機会の創出」(7/15)
 広く町民に、文化芸術を鑑賞する機会を設定するための課題と支援策
- ・ 第2回「練習、発表機会及び環境の整備」(10/20)
 活動者の文化活動における現在の課題と支援策
- ・ 第3回「文化芸術活動・団体の活性化、および町の今後の取組」(12/9)
 活動、団体の活性化および連携のあり方

会議メンバー：東伯文化協会、赤碕文化協会、琴浦芸能祭実行委員会、カウベル合唱フェスティバル実行委員会、琴浦町文化祭実行委員会

アドバイザー：鳥取県文化振興財団 企画制作部 部長 村上隆明

3 結果

(1) 現在の課題点 町の支援(案)

- ・ 交流、事務施設 町有施設の有効活用
- ・ 発表、活動施設 町有施設の有効活用やリニューアルによる検討
- ・ 発表機会の減少 町有施設の有効活用やリニューアルによる検討
- ・ 施設利用、活動費 運用等による減免を検討、対象範囲の検討
- ・ 団体の後継者 町報等による情報発信
- ・ 情報発信、情報入手 町報等による情報発信、活動者相互の情報共有

(2) 文化芸術関係団体による協議会について

上記の課題点への対応及び支援策をより良いものにする視点から、文化芸術関係団体による一体的な組織である協議会の設立に向け、検討をしていく。

4 今後のスケジュール(案)

- (1) 準備会を設け、文化芸術関係団体による協議会の検討を行う。
- (2) 現在挙げられている課題に対し、町として可能な支援策の検討を進める。

図書館システム及び IC タグシステムの運用開始について

社会教育課

1 概要

11月23日(火・勤労感謝の日)に新しい図書館システムの運用を開始し、併せて、新型コロナ対策で導入した IC タグシステムの運用を開始しました。

2 事業の目的等

(1) 導入目的

- ・新しい生活様式で求められるソーシャルディスタンス、3密回避
- ・図書館業務をスマート化することにより図書館サービスを充実

(2) IC タグシステムの設置機器

- ・セキュリティゲート 4台(まなびタウン3台、分館1台)
- ・自動貸出機 4台(まなびタウン3台、分館1台)
- ・自動返却ポスト 2台(本館1台、分館1台)
- ・蔵書点検機1台、カウンターリーダーライター 8台

3 利用状況・課題等

(1) 自動貸出機

- ・全般的に積極的に利用されている。(親子連れ、若者から中高年)
- ・カードを忘れた人、高齢者等へのアプローチが課題

(2) 自動返却 BOX

返却 BOX 利用者はあるが、カウンターへの返却がまだ多い。場所の周知等が課題である。



(自動貸出機)



(自動返却 BOX)

4 今後の取組等

談話コーナーや自習室など図書館以外での本の活用を進めるなど、図書館やまなびタウンの利用に繋げる。